



震災が あぶり出した貧困



反貧困世直し大集会2011

地震・津波・原発の複合災害は、たくさんの人たちを新たな生活苦に突き落としました。他方、避難所から出るに出られない状態で留まる人たちの中には、もともと生活の苦しかった人たちが少なくありません。災害は万人に等しく降りかかります。しかしそのダメージには格差があります。“溜め”のない人たちはより深刻なダメージを受けざるを得ず、それは東日本大震災前の生活状態を引き継いでいます。

震災は、貧困を新たに「作りだす」と同時に、もともとあった貧困を「あぶり出す」。私たちは今回、あえて後者の側面に着目して恒例の10月集会を行いたいと思います。たくさんの方たちのご参加をお待ちしています。

2011年
10月16日(日)
10:00~16:30
法政大学
市ヶ谷キャンパス
外濠(そとぼり)校舎

参加費：500円

情報保障：全体会と一部分科会に手話通訳・要約筆記あり

主催：「反貧困世直し大集会2011」実行委員会